

宮城野萩だより

宮城野萩だより 第 47 号

編集・発行 令和 7 年 11 月 28 日

仙台育英学園父母教師会

〒 983-0045 仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 4-1

Tel. 022-256-4141 Fax. 022-299-2408



R eport

令和 7 年度父母教師会総会

父母教師会の活動が 始まりました

■ 父母教師会 総会 -1

5 月 24 日（土）に仙台育英学園父母教師会総会が、宮城野校舎ゼルコバホールを本会場とし、多賀城校舎の会場とオンラインでつないで行われました。

はじめに、父母教師会会長 尾形茂樹 様よりご挨拶をいただきました。その後、理事長 加藤雄彦 校長先生からのご挨拶があり、今年度の仙台育英学園高等学校の特色や新入生の様子、飲酒運転根絶に対する本校の取組についてお話をいただきました。続いて、教育振興会 会長 坂内玲子 様からのご祝辞をいただきました。ご祝辞の中では、教育振興会の事業や運営、役員等につきましての説明がありました。詳細につきましては、総会資料とともに配付（classi にも掲載）いたしました「仙台育英学園教育振興会について」をご覧ください。

また、役員を退任された皆様への感謝状を、昨年度 2 月に感謝状贈呈式を行い、お贈りしましたことを事務局から報告申し上げました。

さらに、法人局より令和 8 年度における授業料の改定につきまして、保護者の皆様にお伺いをさせていただきました。特に、質問もなく保護者の皆様のご理解をいただきました。

■父母教師会会長挨拶

～父母教師会総会あいさつから（抜粋）～



父母教師会へのご協力 よろしくお願ひいたします

仙台育英学園父母教師会
会長 尾形 茂樹

保護者の皆様、こんにちは。令和6年度の父母教師会会長を務めて参りました尾形茂樹です。

日頃より、父母教師会の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。また、本日は、お忙しい中を総会においでいただき、誠にありがとうございます。

本会は、仙台育英学園の教育方針に基づき、教育の向上と生徒の福祉増進を目的に設置されております。そして、これらの目的を達成するために、生徒の学習の支援や福祉厚生、教育環境の改善、会員相互の教養研鑽に関する事などの事業を行ってきております。

保護者の皆様のご理解とご協力のおかげをもちまして、子どもたちは、日頃の学習活動はもちろん、文化的活動やスポーツ活動、さらには大学や専門学校等への進学、就職など、めざましい成果をあげてきております。令和6年度の活動等についてご理解いただき、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

本日は、お手元の資料1ページの次第にあります内容について審議していただきます。皆様のご理解をいただいた上で、令和7年度の活動を実施できるようにしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、本日の総会の途中で、令和7年度の役員を推薦いただく委員会を開催している間に、吹奏楽部の演奏をお聴きいただることになっています。生徒たちのすばらしい演奏をお聴きください。

では、本日の総会に最後までご協力ください。

■仙台育英学園 理事長・校長挨拶

～父母教師会総会あいさつから（抜粋）～



令和7年度父母教師会 総会にあたって

仙台育英学園 理事長・校長
加藤 雄彦

皆様おはようございます。

只今ご紹介いただきました、学校法人仙台育英学園理事長・仙台育英学園高等学校校長の加藤雄彦と申します。

私の挨拶の前に、4月から学校法人仙台育英学園秀光中学校の校長になりました加藤聖一先生の紹介をいたします。聖一先生は3年前からICT教育とアントレプレナーシップ教育に特化した仙台育英学園沖縄高等学校の校長を務めておりましたが、今年度から秀光中学校の校長を兼務いたします。よろしくお願ひいたします。

令和7年度がスタートしましたが、今年度の入学生を見て「おっ、今年度の入学生はちょっと違うな」と感じております。何が違うのか。彼らは、東日本大震災が発災したときにはまだ幼く、成長する過程で大人の苦労を幼いころからずっと見てきています。その幼かった子どもたちが高校生になって、大人の苦労をずっと見てきているせいか、世のため、人のために力を尽くしたいというお子さんが多いように思います。実際に、生徒会執行部への入会者が100人を超えていたり、チアリーダーに大勢の生徒が入ったりと、伝統ある学校ではあるけれど、そこで自分たちが新しい伝統を築きたいという何かしら思いで入学してきたのかなと感じております。伝統というのはそれに従っていくものではなく、我々が作っていくものというのが私の考え方ですが、それを見事にやってくれそうな1年生だと思います。

1年生の生徒たちが1クラスずつ東和螢雪校舎を訪問した際の様子からも、今年の1年生はちょっと違うのではないかということを感じております。本学園の東和螢雪校舎は、かつてゲンジボタルの生息地として有名であった登米市東和町鱈渕地区にあります。今はゲンジボタルも見えにくくなってしまって残念なのですが、その校地内に小川を作り、ゲンジボタルの幼虫の大好物の貝カワニナを放しております。新入生はその東和螢雪校舎で、仙台育英学園の創立者である加藤

Report

令和7年度 父母教師会総会 理事長・校長挨拶

利吉先生のことや学園の歴史を学んだ後、昼食には地元の名物料理「はっと汁」を食し、クラスづくりについて学ぶなどの研修を行います。その中で、学習活動の一環として「はっとメール」といった家族あての短い文を書き、集合写真をはがきに貼って投函しています。今の子どもたちは携帯電話等のメールを打ちますが、字を書く機会が少なくなっています。文字を打つときも考えているとは思いますが、考えながら文字を書くことが大切なのでその機会をつくろうとしています。その「はっとメール」の内容を見ますと、家族への感謝の気持ちがたくさんつづられており、大変感心させられております。中には「お母さん、いつも朝早くからお弁当を作ってくれてありがとうございます。」あるいは「お父さん、朝早くから駅まで送ってくれてありがとうございます。」といった言葉とともに、「3年間、自分は全力で仙台育英で頑張ります。」などと決意を記しています。もちろん、それなりの思いをもって入学してきているとは思いますが、この1学年の前半で感謝の気持ちや自分の決意をもう一度思い返してもらい、自分の言葉で文を書き、それを送ると更にいいと思っております。例年、いい内容の文を書いているのですが、今年の生徒が書いたはがきを見ていますと素晴らしい内容が多く、力強さだけでなく人のために役に立ちたいという思いをもった優しいお子さんがたくさん入学してきたという手ごたえを感じております。

さて先日、沖縄高校で飲酒運転根絶のお話をしました。最初に伝えたのは、5・22の事故が発生してから20年間、関係の皆様以外には、私はこれまで一度も5・22の詳細を話したことがなかったということです。私自身が事故の現場において全ての出来事を見て、対応していたために、関係の皆様の筆舌に尽くしがたい心痛を想像でき、軽々しく自分の言葉で公に話すことができませんでした。「20年経過してどうして心境が変化し急にしゃべるようになったのですか」と沖縄高校の生徒の質問を受けました。それに対して、私は「皆さんのが高校や大学を卒業し社会に出ることになるので話をします。これまで、罪を償うために刑務所に入った加害者は反省できているのかということを考えきました。5・22の加害者は今年の5月22日に刑期を終えて釈放され、世の中に出できました。刑期を終えて出てきた方に対して敬意を払うことの大切なことです。他方で、加害者の方が今後どのようなことを発信していくのかということも重要な点です。沈黙を貫くかもしれませんし、ご遺族の方に手紙を書いてみたいということを言い出すかもしれません。だからこそ、当時

Report

令和7年度 父母教師会総会 理事長・校長挨拶

を知る私もそれ以上の力で『飲酒運転根絶』について伝えていかなければならない時期に来たと決意し、本日、5・22の詳細について初めてお話をすることにしました。」と答えました。さらに、「何か悔やんでいることはありますか」と質問を受けました。私は「5月22日を含め、毎日、事故で亡くなつた3人の生徒の顔を必ず思い出します。その瞬間、私の中で時間が止まっていることを自覚します。それを繰り返しながら20年が過ぎてきました。そのことは悔やんでいるといえば悔やんでいるという表現になると思います。新しいものに感動して、素晴らしいものにはこんなに力があるのだと希望を感じる日もある一方で、このようなことを考える瞬間もあります。そういうことを繰り返しながらこれまで過ごしています。多分このことはこれからも変わらないと思います。」と答えたところ、質問した生徒は納得しているように見えました。ご遺族にとってみれば今でも時間は止まっていることだと思います。そういう中で、我々大人がやっていかなければならないことは、5・22以降に宮城県で展開されている飲酒運転根絶に対する運動や啓蒙活動をこれからも在校生とともに進め、交通ルールを守ることを徹底していくことだと思います。そういう思いでS.T.A.N.D Sendai Takes Action No Drinking & Drivingというキャンペーンを行っております。このキャンペーンでは、本校オーケストラ部の演奏を行ったり、宮城県知事や宮城県警本部長からコメントをいただいたりしています。そういうことを我々は当然やらなければならぬ立場にいるものと思っております。このキャンペーンを父母教師会と、本日お越しいただいております坂内玲子先生が会長をなさっている教育振興会に支援していただいております。

後ほど、令和8年度の授業料改定についてのご意見をお伺いしたく、法人局長からお話をさせていただきますが、実はまだほとんど決まっておりません。決まっていないことについてお伺いするのはいかがなものかと思われるかもしれません、すでに各ご家庭にはお知らせ申し上げております。せっかく父母教師会の総会がありますので、その席上で我々の知っている範囲のことは申し上げられるのではないかということでお話をさせていただきご意見を伺いたいということでございます。

本日の総会にたくさんの保護者の皆様においでいただき、父母教師会の活動をお支えいただくことに感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。

Report

令和6年度 父母教師会総会

■ 父母教師会 総会 -2

議事では、会則にしたがって尾形会長様に議長をお務めいただき、下記の第1号議案から第5号議案について事務局からの説明申し上げ、審議いただきました。

第4号議案終了後、第5号議案である令和7年度仙台育英学園父母教師会役員選出のための役員推薦委員会が別室で行われました。その間、ゼルコバホールでは本学園オーケストラ部が、ホール全体に響き渡る素晴らしい演奏を聴かせてくださいました。

すべての議案について承認をいただき、令和7年度の父母教師会総会を終了いたしました。

議事

第1号議案 令和6年度事業報告

第2号議案 令和6年度収支決算報告並びに監査報告

第3号議案 令和7年度事業計画（案）

第4号議案 令和7年度収支予算（案）

第5号議案 令和7年度仙台育英学園父母教師会役員の選出



Topics

仙台育英学園父母教師会 沖縄支部総会について



令和7年4月9日（水）に仙台育英学園沖縄高等学校第3回入学式が挙行され、第3期生として32名の生徒が加藤聖一校長先生より入学を許可されました。入学式後に仙台育英学園父母教師会入会式が行われ、新入生の保護者の皆さまが仙台育英学園父母教師会に入会されました。

令和7年4月29日（月）には、仙台育英学園父母教師会沖縄支部総会が開催され、沖縄支部長の諸見里稚子様のご挨拶から始まり、令和6年度の沖縄支部事業報告や沖縄支部役員の選出等を行いました。当日は、授業参観及び第1回教育懇談会も実施され、多くの保護者の皆さまが来校されました。

今回で3回目となる沖縄支部総会では、仙台育英学園沖縄高等学校開校3年目ということもあり、全学年の保護者の皆さまが初めて集う記念すべき会となりました。総会では、支部役員の選出にあたり3年生の保護者より6名、2年生の保護者より4名、新入生の保護者より3名の計13名の役員が選出され、「チーム仙台育英学園父母教師会沖縄支部」として気持ちを新たにスタートいたしました。



Topics

第41回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会で最高賞を受賞

人の心に残るような 魅力的な作品をめざして

書道部 鈴木さん【技能開発コース3年】



▲表彰式の様子

私は小学一年生の頃、母の勧めで書道教室に通い始めました。先生のお手本に憧れ、美しい字が書けるようになりたい一心で練習に励んできました。

仙台育英学園高校で書道部に入部してからは、ただお手本のように整った字を書くことを目指すのではなく、見る人の心に残り、魅了するような作品をつくりたいと強く思うようになりました。思うように書けず悩むことも多くありましたが、試行錯誤を繰り返し、渡辺先生のご指導のもと、自分が納得できる作品を完成させることができました。その結果、今回、第41回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会におきまして「高円宮賞」という名誉ある最高賞を頂くことができました。高円宮妃久子殿下から高円宮杯を授与された時、書道を続けていて良かったと心から思いました。

書道部に入ってよかったですことは、作品を制作できるだけでなく、強い志を共にするたくさんの仲間たちに出会えたことです。特に書道パフォーマンスでは、仲間と一緒に一つの作品を作り上げ、書の魅力や表現する事の楽しさを学ぶことが来ました。今回の受賞を励みに、書と真摯に向かい、技術を磨くとともに、自分らしい表現を探求しながら、これからも一歩ずつ、成長していきます。

改めて、今回「高円宮賞」を受賞するにあたり支えてくださった多くの方々に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

Topics

STAND 飲酒運転根絶仙台育英学園＆仙台フィルハーモニー管弦楽団ジョイントコンサートに参加して

全国総合文化祭の体験を通して

部長 大田さん【特別進学コース2年】

私たちオーケストラ部は、今年度、4月27日にSTAND 飲酒運転根絶仙台育英学園＆仙台フィルハーモニー管弦楽団ジョイントコンサートという大きな行事から始まりました。クラウドファンディングで支援して下さる方々を募り、目標数に達するために多くの保護者の方々、卒業生のみなさん、趣旨に賛同して下さった一般の方々にご協力いただき、素敵なコンサートで演奏できたことに本当に感謝しています。コンサート終了後も部員手分けしてお礼状を書いたり発送したり真心のお返しにあたりました。

その後、私たちは様々な学校行事や学年の行事が続く中、新入部員の指導をしながら7月25日～27日開催の全国総合文化祭（かがわ総文祭）の練習に励みました。今年の開催は香川県。猛暑の中、訪れたことのないところへ34名の大所帯の移動には様々な心配が尽きません。しかしこれまで培ってきたチームワークと注意力を発揮し体調不良やトラブルもなく行程をすすめることができました。

演奏曲は、ベートーベンの《バイオリンと管弦楽のためのロマンス1番》、モーツアルトの《歌劇・コジ・ファン・トゥッテより序曲》でした。曲のテンポがなかなか安定しないまま出発し、前日の練習会場、ホテルの練習会場でも入浴時間ぎりぎりまで練習した記憶は思い出深いものがあります。

当日、音楽の流れに全員がのって集中力が結集した演奏は勢いとまとまりのある満足できる演奏になり、部員それぞれの素晴らしい経験になりました。

総文祭後のオーケストラ部は10月の育英祭、秀光祭、宮城県高等学校音楽祭を終え、お声をかけて下さった介護施設への演奏訪問の準備を始めています。これからも私たちは活動を通して様々な力を養い成長していきたいと思います。

活動にあたりご理解、ご協力いただいている全ての方々に感謝申し上げるとともに今後ともオーケストラ部をどうぞよろしくお願ひします。



▲ジョイントコンサートの様子

新入生から 仙台育英学園に入学して

Essay-1

高校生活の目標

山田 さん【英進進学コース1年】

仙台育英学園高校に入学して、一緒にお弁当を食べたり、お笑い芸人のネタを見ながら大爆笑して帰ったりと、些細な幸せを分かち合える友人と出会いました。そんな友人たちと過ごす毎日は本当に宝物で、かけがえのない時間です。三年後には、守られている立場から、守る立場になる人間として、自立する準備をすることが必要だと思います。また、高校生の今だからこそできる挑戦をするべきだとも考えます。そこで「心から楽しいと思えることを見つける」という目標を立てました。以前の私は他人まかせで、心から何かを楽しいと思えた経験がありません。今は、勉強を一生懸命やってみたり、アルバイトを始めてみたり、一人旅に行ってみたりと、色々な角度から挑戦しています。これまで挑戦することにはネガティブなイメージを持っていました。きっとこれからもそのイメージが変わることはないけれど、嫌なことに飛び込んでいくことだけが挑戦ではないことを知りました。新しいワクワクすることに飛び込むことも挑戦です。私は、楽しい挑戦に苦しい挑戦を少し混ぜるくらいの気持ちで、あとわずかな子供として過ごせる時間を大切に、高校生活を謳歌し、目標達成に向けて日々邁進していきたいです。



▲ 2025年の仙台育英学園高等学校 全日制課程入学式の様子

新入生から
仙台育英学園に入学して

Essay-2

仙台育英に入学した感想と抱負

長岡さん【技能開発コース1年】

今年の4月に仙台育英学園に入学してから4ヶ月がたちました。入学当初クラスになじんでいけるか、友達を作ることができるかと不安がありましたが、そんな心配をする必要がなかったくらい友達ができて、一緒に話をしたり、お昼ご飯を食べたり、夏休みには遊びに出かけたりと楽しく過ごせています。6月に行われたスプリングチャレンジでは、クラス全員で一致団結して大縄跳びや綱引きを行い楽しかったです。同時期に1学期考査もありました。私は勉強が苦手で中学校の頃はなかなか成績が上がらなかったので、高校生になってから良い点数を取りたいと思い毎日こつこつと勉強に取り組んだ結果、中学生の時より良い点数が取れてとてもうれしかったです。

仙台育英学園に入学した私にはこれからの高校生活の抱負が2つあります。一つ目は勉強です。1学期考査で良かった点数を落とさないように復習を頑張りたいです。二つ目は挑戦することです。私はまだ将来やりたいことが決まっていないので、様々なものに挑戦したいと思っています。



▲学校設定科目「自動車整備技術講座」の様子

保護者から

Voice-1

努力の先に見えたもの

武藤さん【フレックスコース卒業生の保護者】

この春、息子は仙台育英学園高等学校を卒業致しました。現在は大学で自分の興味ある分野の学びと野球に日々努力しております。

3年前、当時はまだコロナウィルスの流行が続いていたころでした。「どんな状況でも学びは止めないので安心してください」という学校からの言葉通り、クラスで流行り始める前にオンライン授業に切り替える等早めの対応をしていただきました。感染症対策が少しずつ緩和されると、東和螢雪校舎での研修やスポーツチャレンジなど高校生らしい思い出を作る学校行事に参加したことも楽しかったようです。

息子のクラスは、硬式野球部だけでなくサッカー部・ラグビー部の皆さんと一緒にいました。その中で私たちが最もよかったですと感じていることに、競技だけでなく勉強にも真摯に取り組む同級生が多くいたことがあります。大会にかかる練習等でどうしても公認欠席が多くなり、勉強がおろそかになりますがちであることが懸念事項でしたが、クラスみんなで協力し授業の内容を教えあったりテスト勉強を遅くまで一緒にしたりして、学習に対する高い意識を保ったまま進級・進学が出来たと感じています。スポーツクラスには遠方から進学てくる生徒も多々おります。担任の先生が日常の様子や進路決定に関する心構えなどを共有出来るよう Classi で配信してくれたり、オンラインで懇談会を開いてくれたりしたので、クラスの保護者同士が繋がれる貴重な機会となりました。

あらゆる所で細かい配慮やご支援をいただきました先生方に、この場を借りて改めて御礼申し上げます。



保護者から

Voice-2

先生方への感謝の言葉

武山さん【秀光コース3年生保護者】

お陰様で娘は三年生となり、大学受験の時期を迎えております。振り返れば、入学から現在まで様々なことがありました。

小学六年生のとき、勉強をもう少し頑張りたいという娘の希望を尊重し、中学受験に臨みました。入学した当初は、通学に片道一時間以上かかることや、慣れない環境であることから不安も大きく、大変そうだったことを覚えています。しかし、すぐに友人にも恵まれ、次第に秀光での学校生活に慣れていく様子を見て、安心いたしました。六年間、こうして勉強を続けてこられたのは、本人の努力はもちろんですが、秀光の先生方のおかげだと思っております。高校進学のときには、どのコースに進学するべきか悩んだこともあります。そのときにも、当時の担任の先生や学年主任の先生が丁寧にアドバイスをしてくださり、秀光コースへの進学を決めることができました。

秀光コースでは勉強を頑張りながら、部活動にも励み、とても充実した日々を過ごしていたように思います。レポートやプレゼンテーションの作成といった課題に一生懸命に取り組む姿を見守りながら、娘の日々の成長を感じる毎日でした。フルディプロマの取得に向けて、最終試験でも力を発揮できるよう願っています。インタークト部では、部長として数々の活動に参加し、人前に立つような場面も多かったようで、自信につながったように思います。ウクライナ現地の子たちとの交流会など、なかなかできない貴重な経験ができる機会をくださった関係各所の皆さんに厚く御礼申し上げます。

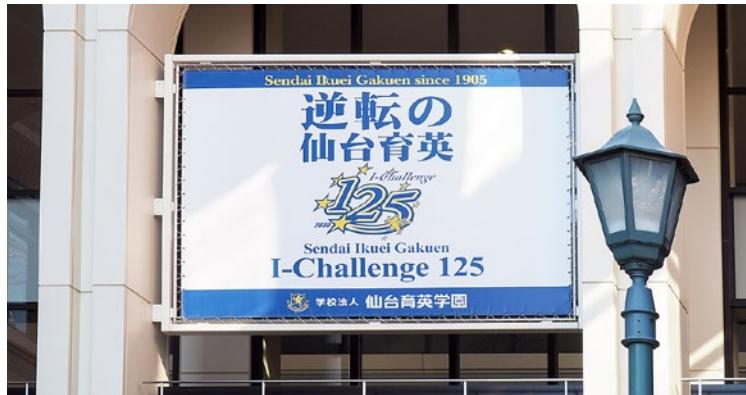
育英祭、秀光祭も終わり、あと残された大きな行事は卒業式のみとなりました。校長先生をはじめ、いつも近くで娘を支えてくださったすべての先生方、本当にありがとうございました。



Data 2025 進路実績

仙台育英学園高等学校 全日制・通信制併せて 1,060 名!

(現役・過卒、文部科学省所管外大学・外国系大学等を含む)



【合格大学名】

東京大1、東北大7、京都大1、北海道大1、金沢大1、東京農工大2、岡山大3、会津大2、京都工芸繊維大1、お茶の水大1、東京都立大2、九州工業大1、新潟大2、信州大1、山形大25、弘前大1、埼玉大5、鳥取大1、岩手大5、徳島大1、愛媛大3、茨城大1、福島県立医科大1、都留文科大2、福島大3、岩手県立大1、宮城大1、青森大2、防衛医科大学校1、防衛大学校2、宮城教育大5、慶應義塾大1、早稲田大5、国際教養大1、上智大2、立命館アジア太平洋大1、立命館大3、東京理科大9、芝浦工大9、立教大8、同志社大6、明治大9、神田外語大5、学習院大1、青山学院大2、中央大23、関西外語大1、法政大17、津田塾大1、近畿大8、創価大5、順天堂大3、東洋大24、武蔵大2、日本体育大1、名古屋外国語大1、昭和女子大1、獨協大3、明治学院大9、竜谷大1、桜美林大4、京都産業大3、西南学院大2、東京女子大1、神奈川大7、金沢工業大3、東北学院大184、東北公益文科大1、尚絅学院大17、東北工業大46、宮城学院女子大34、石巻専修大23、聖和学園短期3、仙台白百合女子大9、仙台大15、東北医科薬科大25、東北生活文化大5、東北福祉大82、東北文化学園大24、Monash University (豪) 1、The University of Sydney (豪) 1、延世大 (韓国) 1、建国大学校 (韓国) 1 /ほか

■ 2025年度大学入試 合格者総数

	四年制大学		短期大学		外国系 大学等	計
	国公立	私立	国公立	私立		
現役	84	848	0	28	30	990
過卒	15	55	0	0	0	70
合計	99	903	0	28	30	1,060

■ 2025年3月就職者

■ 専修・各種学校への進学者

男子	女子	合計	男子	女子	合計
48	35	83	87	107	194

飲酒運転根絶活動

I-Lion day】

Essay-1

飲酒運転根絶に向けて

生徒会長 元屋敷 さん【秀光コース3年】

本校では毎年「I-Lion day」を通して、飲酒運転撲滅への意識を高める活動を行っています。私たち生徒会もこの取り組みに積極的に参加し、啓発活動の中心となっていました。地域の方々や保護者の皆さんに呼びかけることで、飲酒運転がどれほど危険で、どれほど多くの人の人生を一瞬で奪ってしまう行為なのかを改めて考える機会となっています。私自身も、この活動を通して「飲酒運転は絶対に許されない」という強い気持ちを持つようになりました。便利さやその場の軽率な判断で、かけがえのない命や未来が奪われてしまうことは、あってはならないことです。生徒一人ひとりがこの問題を自分ごととして捉え、家族や周囲の大人へも意識を広げていくことが大切だと思います。また、私たちが高校生のうちからこのような活動に関わることには、大きな意味があると感じています。まだ免許を持たない立場だからこそ、将来運転をするようになった時に「飲酒運転はしない・させない」という強い決意を持つことができます。そして、地域の安全を守る一員として責任ある行動を選び取れる人間へと成長していくけるのだと思います。これからも生徒会は、飲酒運転撲滅に向けた活動を続けてまいります。本校の生徒が率先して声を上げることが、少しでも地域の安心につながることを願っています。



▲宮城県飲酒運転根絶県民大会の様子（白石市ホワイトキューブ：2025年5月22日）

【仙台育英獅子太鼓部】

Essay-2

心一つに願いを込めて

佐々木 さん 【技能開発コース3年】

日本では年間2万人の飲酒運転が顕在化している現状です。20年前、本校の先輩方3名が飲酒運転による事故で亡くなっています。私たちは、そのような悲惨な事故が二度と起きないように強く願い、今回この活動に参加いたしました。

私たち獅子太鼓部は、夏祭りや介護福祉施設などのイベントを通して、地域の人とのつながりを作り、地域貢献できるよう活動しております。今回のイベントでは、私たちの顔にもなっている曲である「山河」を演奏させていただきました。この曲には、人々の平和と東日本大震災による地域復興の願いが込められています。和太鼓には、多くの人を勇気づける力があります。今回、飲酒運転による事故が一刻も早く無くなってほしいという部員一人一人の強い思いを込めて演奏いたしました。

高校卒業後、私たちの多くが車を運転することになります。飲酒運転は絶対にしてはいけないということを忘れずに、社会人として責任を持って生活していくことを誓いたいと思います。日々の暮らしで自分たちができるることを一人一人が実践していくことが重要です。特に、「飲酒をしたら運転をしない」という当たり前のことを意識し、飲酒運転をしそうな人がいたら注意して止めるなど自分一人ではなく周囲の人も巻き込んだ意識作りが必要だと思います。飲酒運転根絶運動に参加して、車を運転する責任を更に感じることができました。



▲仙台育英獅子太鼓部【育英祭 2025】

Records

令和7年度 宮城県高等学校総合体育大会 成績

《団体種目》 ※1～3位まで

■仙台育英学園高等学校

《優勝》

- 硬式野球 2年ぶり28回目
ラグビー 2年ぶり31度目
女子 テニス
女子 ライフル射撃 総合優勝 2年ぶり14度目
女子 ビームライフル射撃 2年ぶり21度目
なぎなた

《準優勝》

- 男子 エアライフル射撃
男子 ビームライフル射撃
女子 エアライフル射撃
女子 ビームライフル射撃
男子 卓球
男子 陸上競技 (総合2位)
女子 陸上競技 (総合2位)
男子 柔道団体
男子 剣道

《3位》

- 男子 ビームライフル
男子 サッカー
女子 サッカー
男子 バレーボール
女子 剣道

